

# 本庄まちづくり協議会

## 団体や地域の自慢したいこと

今年度から本庄小学校がコミュニティスクールに認定されたことから本庄町では「地域とともにある学校」の実現を目指しています。

そこで、まちづくり協議会では、これまで別々に開催していた「町民文化祭」と「軽トラック市」を「小学校日曜授業参観」と同時開催（合体）して『かたりべの里本庄感謝まつり』と銘打ち、地域と小学校の融合を図りました。

### かたりべの里本庄感謝まつり

- 日 時：令和4年11月20日（日）9：15～12：00
- 場 所：本庄小学校体育館・本庄公園
- 主な内容
  - ① 児童と公民館サークル等の舞台発表及び作品展示  
各学年の児童と公民館サークルとがコラボした舞台発表を行う。
  - ② 体験活動の場を設けて各種団体と交流  
各種団体が昔遊び体験、防災体験、販売体験、饅頭づくり体験の場を設けて、児童の体験活動を支援する。
- 融合のキーポイント  
日曜授業参観と合体して開催するので、まつりを学校の授業として成立させることが鍵
- 苦労したところ  
舞台発表の学年と公民館サークル等とのマッチング。練習時間の確保。  
学校と各種団体との体験活動内容の打ち合わせ。その都度変更となる内容の委員への周知。
- 参加者からの声  
「子ども達と交流できて楽しかった」「初めてのことで準備が大変だったが、来年もやりたい」  
「子ども達から感謝の言葉や手紙を貰って嬉しかった。感動した！」



1年生とリズムダンスサークルとのきつねダンス



5年生と食改との饅頭づくり

2年生と老人クラブとの童謡の合唱

## 今後の展望や夢など

「地域とともにある学校」の実現に向けて、まちづくり協議会では、「子どもを真ん中に置いたまちづくり」を重点目標と定めて今後の事業を展開していきたい。

出番→役割→承認→称賛 ⇒ 感動 のスパイラルで根気強く「まちづくり」を進める。

《感動はひとを動かす原動力》と信じて！！

代表者

本庄まちづくり協議会 会長 川崎 健三

連絡先

本庄公民館 住所：佐賀市本庄町大字本庄 279 番地 8 電話：23-2691

# 鍋島まちづくり協議会

—歴史と未来がふれあうまち鍋島—

## 団体や地域の自慢したいこと

### 2022「養正ふれあいまつり」を3年振りに開催(10月23日・日)

演奏・ダンス等舞台発表、絵画・書道等文化作品展示、農産物の販売・フリーマーケット等出店(飲食物提供無)に住民約950名が来場



鍋島中吹奏楽部の元気で迫力ある演奏



来場者でにぎわうテント村出店

### 「昭和28年鍋島水害写真集」読書感想文コンクールの開催

今から68年前に嘉瀬川堤防が決壊し、大きな被害を被った、いわゆる「28水」の状況や復旧工事の写真や記録をまとめた写真集を令和3年10月に発刊。令和4年度は、鍋島小4年生と鍋島中学生を対象に読書感想文コンクールを実施。児童生徒の防災意識の高揚と鍋島の過去の歴史を知る機会につなげた。143点の応募有、11月末時点で審査中。

## 鍋島小の総合学習への参画・支援

“地域に学ぶ・地域で学ぶ”をテーマで取り組まれている鍋島小の総合学習へ役員・構成員が参画支援



【4年生:防災を学ぶ】

まち協・吉田部会長が説明



【3年生:ニュースポーツを学ぶ】

まち協・古賀部会長が説明



【6年生:郷土の歴史や史跡を学ぶ】

まち協・松元部会長が説明



蓮成寺や江藤家の墓を木ノ角自治陣内会長が説明

## 今後の展望や夢など

- 現まち協活動は高齢者が主体。今後、若い世代や女性が積極的に参画できる環境づくりを目指したい。  
⇒子育て世代への地域での支援の在り方を議論(子どもたちの居場所づくりなど)
- まち協構成団体とのゆるやかな連携とともに、小中学生、佐大医学部学生、校区内企業勤務者など幅広い方々を含めた活動も検討したい。

代表者 鍋島まちづくり協議会 会長 瀬戸 邦聰

連絡先 鍋島公民館内事務局 (住所)佐賀市鍋島一丁目1-1 (電話)0952-31-2984



# 金立まちづくり協議会

## ～みんなが主役の明るいまち金立～

### 団体や地域の自慢したいこと

金立町は、山と川、田園にかこまれた自然豊かな町です。山では、登山道にキャンプ場、神社やサービスエリアで賑わっており、ふもとには徐福にまつわる施設や葉隠れ発祥の地などの史跡があります。田園では、約7000年前の東名の縄文遺跡があります。また、佐賀市の浸水被害を守るための巨勢川調整池があり、朝夕には、周囲2.6Kmを水鳥や水面に映る景色を見ながらウォーキングやランニングを多くの人を楽しんでいます。

協議会には、地域活性化部会、防犯・防災部会、子ども育成部会、福祉部会、自然環境部会があります。自治会長会をはじめ、消防団、PTAやスポーツ協会、子ども会などの団体と連携しながら活発な活動を行っています。



### 今後の展望や夢など

今後の展望は、大きく2つの特徴を持つ自然を生かした地域づくりとコミュニティーの活性化があります。例えば、山の自然であれば、金立山にある登山道やキャンプ場、コスモス園の更なる利活用。平地の自然では、東名遺跡や徐福長寿館、葉隠れの遺構の更なる利活用があります。

近年、問題となっている災害や鳥獣被害に対する活動の活性化も必要と考えられます。災害については、避難訓練や防災キャンプなどの企画運営を、鳥獣被害については、イノシシの駆除などの活動が考えられます。

以上のように豊かで安心・安全な金立町にするために、各団体と連携を図りながら、活動していきたいと考えています。



代表者  
連絡先

金立まちづくり協議会  
金立公民館

会長 鐘ヶ江 博文

住所：佐賀市金立町大字千布2333番地2 電話：98-1016

# 久保泉まちづくり協議会

## 団体や地域の自慢したいこと

- 1 国の天然記念物である、えひめあやめの保全活動を通じて、町民の融和・交流を図っている。
  - (1) 小学生を対象とした、えひめあやめ総合学習、講座の実施
  - (2) 町民（えひめあやめ保全会）による自生地の管理と育成作業
  - (3) 開花時期に、まちづくり協議会や自治会を中心としたえひめあやめ祭りを実施し、一般公開し、毎年3,000人近く来場者がいる。
- 2 盆踊り・花火大会、ほんげんぎょうを開催して、町の活性化と町民相互の交流を深めている。
  - (1) どの事業も、子どもたちを中心に考え企画している。
- 3 全ての地域団体が協力して子ども見守り活動（青パト巡回）を行っている。
- 4 自主防災対策や炊き出し訓練の実施
- 5 まちづくり協議会の高齢者検討委員会で高齢者支援活動計画検討中  
上記5項目を中心とし、安心・安全して暮らせる町づくりをめざしている。



## 今後の展望や夢など

- 1 昨今、甚大な被害が起きる災害が増えてきているので防災活動に力を入れ、安心・安全に暮らせるまちづくり
  - (1) 防災意識高揚のための防災訓練、研修会実施
  - (2) 今後、地域企業等との災害時の避難、救助に関する連携の強化を図っていく。
- 2 高齢化が急激に進む中、高齢者支援活動の充実を図っていく。
  - (1) 買い物支援、行動支援等 デマンドタクシーの検討
  - (2) 高齢者の出番をつくるグラウンドゴルフ大会、子ども達との交流。
  - (3) 子ども見守りの強化と同時に、高齢者の見守り活動を図っていく。
- 3 地域企業で働く外国人との交流をはかり、地域の活性化に繋げていく。
  - (1) 交流会の実施、参加
  - (2) 地域イベント、行事等への積極的な参加
- 4 地域の伝統行事、イベント等の充実と継承。

### 代表者

久保泉まちづくり協議会 会長 井手 裕幸

### 連絡先

久保泉公民館 住所：佐賀市久保泉町大字川久保 1363 番地 1 電話：98-0001

# 蓮池まちづくり協議会

## 団体や地域の自慢したいこと

- ・ 町内外の皆様が毎年楽しみにしておられた天賜園月まつり「観月会」が、新型コロナウイルス感染症予防対策により中止や内容変更を余儀なくされているなか、三年ぶりに蓮池名物「芋茶粥」と「煎茶」のふるまいが復活しました。

これには、まち協構成員の一人ひとりが実施に向けて一致団結し、アイデアを出し合って予防につとめた努力がありました。

特に、芋茶粥のふるまいでは担当者を二倍に増やし、食べていただく場所を屋内と屋外に分散するという密を防ぐ対策を取りました。

久しぶりの芋茶粥に皆様の笑顔があふれ、アンケートにも「楽しかった、来年もお願いします」との声が多数よせられ、役員一同元気をもらいました。



## 今後の展望や夢など

- ・ 蓮池町各種団体との連携強化  
蓮池町の活性化のためには、まち協と各種団体との相互理解と協力が必要だと思います。そのためには、連絡会議を定期的に開くことにより連携強化を図っていく。
- ・ 祭イベントなどに企業の参加協力を働きかける  
企業の企画テントを出してもらい、祭全体を盛り上げていく。
- ・ 学校との協力体制づくり  
子どもたちのイベントを増やし、大人の参加を多くすることで人材確保につなげたい。
- ・ 町民アンケートの実施  
町民の皆様がまち協に望むことは何かを把握することで、より良い方向性を見いだしたい。

### 代表者

蓮池まちづくり協議会 会長 山口 泰夫

### 連絡先

蓮池公民館 住所：佐賀市蓮池町大字蓮池 6 番地 49 電話：97-0070

# 新栄まちづくり協議会

## 団体や地域の自慢したいこと

本部事業として、春は「おひな飾り」「鯉のぼり掲揚」、夏は「七夕飾り」「夏まつり」、秋は「ランタン飾り」冬は「イルミネーション飾り」「ほんげんぎょう」と季節ごとに魅力ある行事を実施しています。また各部会においては、暮らし部会の「交通安全運動」「街頭活動」、環境部会の「資源物回収」「公民館花壇整備」、歴史文化部会の「新栄秋祭り」、育成部会の「生活体験合宿」「どろんこ祭り」福祉健康部会の「ねんりんピック」「ふれあい会食会」「福祉健康講座」などの活動を行っており、その他の団体もそれぞれの特色を出して頑張っています。

夏まつりには大勢の参加者があり、新栄秋祭りの浮立にはたくさんの大人と子どもが、この伝統行事を伝承していこうという気運を盛り上げてくれています。このように、行事開催の際には新栄校区のみなさんに多大な協力をいただいております。また何よりも、楽しく住みやすい街だという声をいただいていることをとても嬉しく誇りに思います。

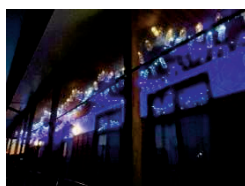
新栄校区は住民の結びつきが強く、まちづくり協議会の活動においても、お互いが気軽に連絡、相談し合える関係にあるという特徴があります。校区夢プランの目指す姿に「つながあい」がありますが、行事開催の一番の目的は、住民一人一人のつながりを密にすることだと考えています。それが活性化であり、住みやすい街につながっていると思います。



新栄ひな祭り



七夕飾り



ランタン飾り



ほんげんぎょう



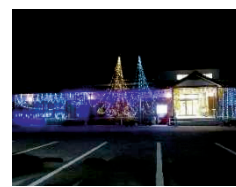
こいのぼり掲揚



新栄夏まつり



新栄秋祭り



イルミネーション飾り

## 今後の展望や夢など

校区の夢プランの三つの姿勢である「明るくあいさつを交わすまち 新栄」、「誰もが躍動するまち 新栄」、「健幸で安全安心のまち 新栄」この三つを柱として取り組みたいと思います。

民生・児童委員協議会や社会福祉協議会等と協力して、高齢者サロン活動を活発化させること、自主防災組織の設置、高校生など若者のまちづくり後継者育成に力をいれていきます。

### 代表者

新栄まちづくり協議会 会長 黒田 利人

### 連絡先

新栄公民館 住所：佐賀市鍋島町大字八戸 1285 番地 3 電話：23-4907

# 若楠まちづくり協議会

## 団体や地域の自慢したいこと

1. 「スポーツと文化の町 若楠校区」  
サンライズパークや佐賀市文化会館の所在地であることが若楠の自慢です。
2. 若楠まちづくり協議会は、部会長を含む役員に恵まれており、毎月の役員会で校区の全体の流れを掌握し、月々の行事の取り組みについて協議しています。  
たとえコロナ禍の中であっても、何ができるか、どうすればできるかを前向きに検討協議し、難しい判断の中でも種々のイベントを実施してきました。令和4年に開催した主なイベントです。
  - ①若楠ほんげんぎょう 1月9日（日）
  - ②若楠校区新年祝賀会（交流会） 1月10日（祝・月）
  - ③ふるさと若楠納涼祭り 8月11日（祝・木）
  - ④2024国スポに向けての「フェンシング選手激励会」 8月30日（火）  
※若楠まち協は、佐賀県フェンシング協会と協定締結をしています。
  - ⑤若楠・サークル発表会（若楠文化祭） 11月13日（日）
 その他、通学合宿やニュースポレク祭なども公民館や地域団体と連携協力して実施しました。
3. 若楠公民館は、「若楠広場」と併設されており、グラウンドゴルフやゲートボールも盛んです。
4. 清流「多布施川」も近くを流れており、川沿いのウォーキングも盛んで、桜を見ながら「春の歩こう会」も開催しています。



～若楠ほんげんぎょう～



～佐賀県フェンシング協会との  
交流事業 納涼祭りにて～



～若楠・サークル発表会～

## 今後の展望や夢など

### ◎今後の展望

SAGA 2024 国スポ・全障スポ大会が来年に迫っています。全国から相当数の人の交流が見込まれ、喜びとともに心配もあります。

まちづくり協議会としても国スポ開催への対応をしっかりとしていく必要があります。

更に国スポ後が若楠の勝負と思っております。

### ◎今後の課題

まち協も全体的に高齢者が多く、人材面で将来が心配。各種団体も高齢化していて次の流れをどう作るかが課題です。今、期待しているのは、小学校・中学校の保護者PTAの役員の方々を子どもが卒業しても、地域の役に付いていただくことであると思っています。

### 代表者

若楠まちづくり協議会 会長 原武 継成

### 連絡先

若楠公民館 住所：佐賀市若楠二丁目13番1号 電話：31-6358

# 開成まちづくり協議会

## 団体や地域の自慢したいこと

With コロナの中、感染症対策に努めながら各部会が活動を展開し、**地域がつながる機会を創出**しています。

### 福祉部会

「年末訪問交流」として、他団体と協働しながら、お一人暮らしの高齢者のお宅へ、手作りのプレゼントを配布したり、年賀状を作成しお送りしています。



### 本部

地域参加型を目指し、「開成ライトファンタジーフォトコンテスト」を行い、表彰式を開催しています。



### 文化・スポーツ部会

「校区一斉ラジオ体操会」を開催し、地域から元気を発信しました。また今年度から社会福祉協議会による「校区内一斉清掃」が合わせて開催されるなど、新たな展開を見せています。



### 子ども部会

小学校の振替休日に、子どもの居場所づくりとして行う「振休ふれあいパーク」の他、中学生がサンタに扮してプレゼントを配る「中学星サンタ」など、子どもの出番を意識した事業を行っています。



### 生活・環境部会

まちづくりセミナーとして、「感染症」や「特殊詐欺」について学ぶ機会を提供する他、**現地研修**として「クリーンパークさが（産業廃棄物最終処分場）」を見学するなど、住みよい未来のまちづくりに向けて見識を深めています。



## 今後の展望や夢など

(スローガン) 「世代を超え 人と人がつながり 健康で暮らしやすいまち 開成」

### これまでの活動を振り返ろう

活動によって築かれてきた“住民同士のつながり”を守っていけるように、これまでの活動の内容や方法を振り返る

### 外のカも借りてみよう

役員の高齢化やなり手不足のため、地域事業の継続が危ぶまれるという課題解決の一つとして、企業との連携を図ることも視野に入れていく

### まちづくりはひとづくり

スローガンに沿ったまちづくりを目指すため、広く住民の声が届く工夫や世代の垣根を超えた「ひとづくり」に力を入れていく

#### 代表者

開成まちづくり協議会 会長 伊藤 豊

#### 連絡先

開成公民館 住所：佐賀市鍋島町大字森田 27 番地 4 電話：33-9581



# 諸富町まちづくり協議会

## 団体や地域の自慢したいこと

奥ゆかしさをモットーとする町民性なので「自慢すること」は性に合いませんので、従来取り組んできたことについて紹介します。

諸富町まちづくり協議会

- <子育て部会>  
あいさつ運動、その他 子育て支援に関する幅広い活動協力
- <暮らし部会>  
あんしんネットワーク・・・要支援者の見守り活動など
- <安心部会>  
自主防災活動・・・・・・防災避難訓練
- <交流部会>  
町民一斉ラジオ体操（夏休み） 諸富夏まつり
- <まちづくり部会>  
広報紙発行 ホームページ更新

令和2年度、3年度に引き続き、4年度もコロナウィルス感染予防の為、ほとんどの活動が中止になった。  
4年度の後半になり少しずつ活動が再開されてきているところである。



今年度情報誌



通学時の見守り様子



第18回子どもフェスタ



文化祭の様子

## 今後の展望や夢など

令和4年度

佐賀市「公共交通空白地域等における地域内交通活性化モデル事業」

進む高齢化社会

運転免許返納したいが・・・

公共交通整備 不十分

- ①佐賀市営バス②諸富・橋津線の路線変更の方向性で検討開始
- ②9月バスの利用状況等について、実際に二日間、「諸富・橋津線」の全便に乗車して聞き取り調査を実施
- ③乗降調査の結果をもとに、検討会議を開催

今後は

- ④住民へのアンケート調査を実施
- ⑤アンケートの結果をもとに、路線の変更経路、新停留所等について検討
- ⑥試験運行を経て、路線の変更

代表者

諸富町まちづくり協議会 会長 飯盛 清彦

連絡先

諸富町公民館 住所：佐賀市諸富町大字諸富津7番地 電話：47-4995

# 春日まちづくり協議会

## 団体や地域の自慢したいこと

### ◆春日の郷ふれあい祭◆

作品展示 11/3（金）～20（日）  
 浮立奉納 11/19（土）校区内5か所  
 舞台発表 11/20（日）  
 イベントコーナー  
 豚汁、お茶会、焼いも、抽選会  
 こどもコーナー（各種ゲーム）  
 大道芸人フーミンショー



浮立の奉納



舞台発表



こどもスタッフによる焼いも



作品展示

### ◆イルミネーション◆

設置準備 12/3（土）  
 点灯式 12/11（日）  
 点灯期間 12/11（日）～1/28（土）



まち協を中心に児童～大人が協力してイルミネーションを設置中



点灯式での演奏やイルミネーションの様子



## 今後の展望や夢など

### 人の和、地域の輪があり、楽しくいきいきと生活できるまち

- ◇高齢者が安心して生活できるまち
- ◇健康でいきいきと生活できるまち
- ◇伝統文化の復活と継承を通して、自慢と誇りの持てるまち、美しいまち
- ◇子どもから大人まで明るく安心して生活できるまち
- ◇子どもが成人しても、再び春日校区で暮らしたくなる魅力的なまち



つながる春日 検索

代表者 春日まちづくり協議会 会長 深川 優

連絡先 春日公民館 住所：佐賀市大和町大字尼寺 1875 番地 電話：62-3151

# 春日北まちづくり協議会

## 団体や地域の自慢したいこと

春日北まちづくり協議会は、「絆～つながり 支え愛 みんな笑顔の春日北～」を目標に掲げており、その目標を達成するために5部会（自然・文化部会、子ども育成部会、健康・福祉部会、安全・安心部会、人のつながり部会）の活動を通じて、春日北校区の住民相互の交流と親睦を図り、豊かで住みよい地域づくりに取り組んでいます。今年度新しく取りくんだ活動を紹介します。

### 『第1回かすが北“ほのか”PROJECT』

令和4年10月29日（土）に春日北あかりのイベントである「かすが北”ほのか”PROJECT」を開催しました。この企画は自然・文化部会が「この暗いコロナ禍の世の中を春日北から明るくしたい！」との熱い思いから構想を練り、「肥前国庁跡南門ライトアップ&芸能祭」との同時開催ならびに春日北まちづくり協議会のコロナ過での新しいプロジェクトとして、肥前国庁の建物跡及びその周辺に**1,000個の紙灯ろう**を灯しました。

南門で行われた芸能祭でのきれいな歌声や楽器の音色が秋の夜空に響き渡る中、校区の子どもたちや地域の皆さんの「早くコロナがなくなりますように!」、「世界が平和でありますように!」などの願いごとが”ほのか”な明かりとともに浮かび上がり、とても幻想的な風景でした。

多くの方にご来場いただき、「紙灯ろうが綺麗だった。」「子どもの願いごとを見ることができて良かった。」などの沢山のご意見を聞くことができました。



## 今後の展望や夢など

今後はコロナ過での活動をテーマにコロナに対応するための様々な工夫を他のまちづくり協議会でなされている活動を手本にしながら、コロナの影響で塞ぎがちな今、地域の方々のコミュニティがさらに活発により効果的に広がるためにも今後も地域での活動を徐々に進めていきたいと考えています。

### 代表者

春日北まちづくり協議会 会長 永原 秀文

### 連絡先

春日北公民館 住所：佐賀市大和町大字久池井1756番地1 電話：62-8828

# 川上校区まちづくり協議会

## 団体や地域の自慢したいこと

### 1. 地域の魅力自慢

川上校区は純農村地帯で、人口 5,750 人、世帯数 2,190 世帯、山麓部はみかん、桃、スモモ、平坦部は、米、麦、花卉類などの生産が盛んな地域であります。また歴史的には、古代（縄文、弥生、古墳、奈良時代）から栄え、それを物語る数々の史跡類が存在し、訪れる人にロマンを感じさせる地域でもあります。このように地理的条件にも恵まれ、嘉瀬川の清流や、また、筑紫山麓から見渡す眺望は、右に多良岳山系、左には、耳納連山、正面には雲仙岳や有明海、そして佐賀平野の風景は、多くの来訪者に感動と癒しを与える十分な自然環境に恵まれています。

### 2. かわかみ凧あげ大会 <子どもから高齢者まで幅広い層を対象・人と人とのつながり>

（構成団体：まち協、自治会、女性部、川上小 PTA、大和中 PTA、体協、青少年育成、公民館）

まちづくり協議会他、各種団体が年間を通して、数多くの事業展開をする中、唯一互いの団体が協力体制を取りながらの事業として、かわかみ凧あげ大会があります。この事業は、校区内の身近にある地域の自然環境を活かした取組み（大空の新名所）として、毎年凧あげ大会を開催しています。また、各種団体が川上校区の課題を共有することで、地域連携と活性化を促進することを目的としています。

### 3. 団体との主な取組み（まち協、自主防災会、校区社協、民生・児童委員、女性部、公民館）

- ①高齢者送迎サービス「かわかみ絆の会」通院や社会参加などのための移動手手段の確保。
- ②見守りを兼ねて独り住まいの高齢者にまち協（農業部会）育てたさつま芋のプレゼント。
- ③農業部会で育てた旬の野菜提供（フードバンクさが）
- ④みかんの木オーナー制の導入。高齢農家の労力軽減と校区外から人を呼び込むことで活性化。
- ⑤高齢者一人世帯ふれあい会食会。（佐嘉にわか、歌、踊りなどの出し物他）
- ⑥川上小の子どもが地域の人と昔遊び。（けん玉・ダルマ落とし・お手玉・コマ回し・羽根つき他）
- ⑦子どもの安全と見守りを兼ねて（川上小児童とお守り隊との対面式）
- ⑧災害時の高齢者等要避難者支援名簿と住宅地図作成により避難行動に繋げる体制づくり。
- ⑨地震・豪雨災害を想定した訓練（毎年実地訓練 2 回、出前講座 1 回、）

### 4. まちづくり協議会各部会の主な取組み

- ①介護予防講座（年間を通しての脳イキイキ・ストップロコモ・音楽サロン・元気アップ教室）
- ②野菜作りと収穫を楽しむ家庭菜園教室、川上産大豆を使った味噌作り教室（各年 2 回開催）
- ③ゆつたら～と川上フットパス（4 コース設定で年 4 回開催、史跡、神社、仏閣、紅葉など）
- ④子ども見守り防犯パトロールパネルの作成、子ども（小学 4 年～ 6 年）川上峡カヌー体験他



かわかみ凧揚げ大会



万寿寺の紅葉



独り高齢者配布用の芋掘り

## 今後の展望や夢など

### 1. チーム川上（仮称）

現在、若いお母さんやお父さん達で数回の会議を経て、組織（チーム川上）の立上げを模索中。川上の活力と、活性化、地域のつながりために今後の活動に期待をしたい。また、公民館ともしっかりと協力していきたい。

代表者

川上校区まちづくり協議会 会長 副島 義和

連絡先

川上校区公民館 住所：佐賀市大和町大字川上 2480 番地 2 電話：62-5775

# 松梅まちづくり協議会

## 団体や地域の自慢したいこと

松梅まち協は発足して丸4年目。そのうちの2年はコロナの影響で活動が制限されなかなか実績を残すことはできなかった。今年は2つの新しい活動を行った。

《これまでの「松梅かかし祭り」を「松梅かかし村」としてリニューアル》  
「あっここにもある！と見つけてもらえたらいいね。」という思いで始めたかかし作りの取り組みで、テーマや設置場所などの案を練り、関わるメンバーも各種団体や有志を募り作り上げた。誰も初めての経験だったがたくさん話し合っって知恵を出し、手を動かしたことでメンバー間の士気も高まり想像以上の出来栄となった。テレビや新聞の取材等もあり多くの見学者が訪れ、「すごいね。」「よくできているね。」と言った言葉に喜びと満足感を味わった。



## 《松梅校区一斉防災訓練～みんなで作ろうみんなを助ける人文字～》

校区人口の4分の1にあたる人数の参加で、グラウンドいっぱいSOSの文字が出来上がった。松梅はほぼ全域が土砂災害の危険区域であるため、避難経路の寸断が想定される。そのために空から見つけてもらう方法を町民に知ってもらう試みだった。



## 今後の展望や夢など

- 企画案をみんなで考えることも大事だが、特に新しいことに取り組む時は中心となる人達が音頭を取り、引っ張っていく事も必要だと思う。
- 地域で活動する各団体との交流会等も定期的に行い、まち協の活動を知ってもらい一緒に運営していく流れを作っていきたい。

### 代表者

松梅まちづくり協議会 会長 岡城 守

### 連絡先

松梅公民館 住所：佐賀市大和町大字松瀬 2530 番地 1 電話：64-2041

# 富士まちづくり協議会

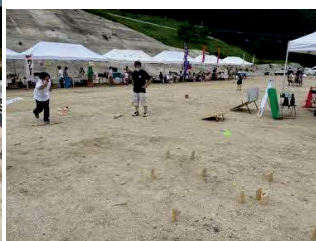
## 団体や地域の自慢したいこと

### “地域の絆部会 を開催しました ”

本年度の事業計画である、集落支援事業について話し合いました

- 空き家はたくさんあるが、管理面や地域との付き合いなど空き家バンクには登録したくないという所有者が多い
- 仏壇があり、その処遇で困るケースがある
- 移住希望者は多いが、空き家の登録が足りない
- すでに移住した方と希望者との懇談会、意見交換会を計画してはどうか

<地域の絆部会・会議の様子>



<イベントの様子>

### ！富士しゃくなげ湖 水上競技場オープニングイベントの開催！

地域活性化部会では、令和4年7月23日に開催された、『しゃくなげ湖水上競技場オープニングイベント』において、会場内での受付業務や運営のお手伝いを行いました

一般の参加者は、実業団ボートチームによるエキジビションやボート体験、陸上でのモルックや自転車の体験などを楽しんでいました

### こども体験活動 ♪ るんるんハロウィン ♪

子どもと大人が一緒になってハロウィンの衣装づくりや富士ふれあい祭りでの仮装パレードを楽しみました  
驚くようなアイデアがいっぱい飛び出し、工夫を凝らした個性的な衣装ができました

ふれあい祭りでは、ご来場の皆さんに、自慢の衣装をご披露して、よろこんでいただきましたよ

12月はクリスマスツリーづくり・交流会、年明けにはまちづくり協議会設立記念公演イベントや宝さがし会などの催しを企画しています

<すこやか部会・ハロウィンの様子>



## 今後の展望や夢など

### “わがまちの人口減少をとめる ”

富士町も過疎化が進み、どんどん人が減っています。まち協では、市から集落支援(空き家バンク)事業を受託し、移住希望者のマッチング・交流会の実施、空き家見学会の開催、地元自治会との懇談会などを実施し、定住・人口増を進めています。現在 59 軒空き家が登録され、うち 8 割以上が移住され、約 134 名の見学希望者が登録されています。

今後も『自然豊かな緑と清流と温泉のまちに住もう』を目指して頑張りたいと思います。



<空き家見学会の様子>

代表者 富士まちづくり協議会 会長 吉浦 明

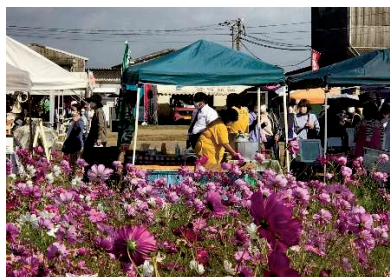
連絡先 富士公民館 住所：佐賀市富士町大字古湯 2624 番地 電話：58-2882

# 南川副まちづくり協議会

## 団体や地域の自慢したいこと

・ **地域の魅力自慢**：有明海沿岸部での海苔の養殖や干拓地における米、大豆、小麦などの栽培。佐賀空港とその東にはコスモス園があり、毎年色とりどりのコスモスと白い蕎麦の花が咲き乱れ多くの方が訪れます。また、龍造寺隆信が鎮護の神として創建した「海童神社」は航海漁業や農業、商工業、諸産業の守護神。春や秋にはお祭りが開催される。

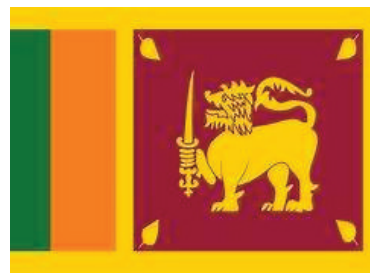
・ **主な活動自慢**：佐賀空港コスモス園では、今年度初めて「佐賀空港コスモス祭り」と「佐賀空港花園マルシェ」を開催した。コスモス祭りは約1か月間の開催中、県内外から約46,900名の観光客が訪れ、花園マルシェは2日間で約15,500名の来園者があった。子ども育成部会では地域の誇りである佐賀空港コスモス園の開演中に南っ子たちの見学会を行った。また子どもたちが郷土の歴史を歩いて学ぶ「さるく会」を開催している。生活環境部会では校区内の環境美化活動として河川や樋管、道路の清掃、小学生の環境学習として出前講座を行っている。健康福祉部会では春は空港桜ロード、秋は空港コスモス園と東与賀海岸のシチメンソウで健康ウォーキングを開催している。今年度は新たな取り組みとして、スリランカ出身のKUMUDUさんをお迎えして文化や産業、暮らしなどについて話しを聞いて紅茶とスリランカのお菓子を食べながら交流を行った。



佐賀空港花園マルシェ



環境美化活動（河川清掃）



スリランカはどんな国？

## 今後の展望や夢など

・ コロナ禍の中で県内の感染状況を見つつ、検温や消毒徹底、3密などを避ける感染防止を最優先しながら取り組んでいる。今後も新型コロナウイルスの感染を防ぐことを最優先して取り組んでいく。

・ 毎年3月に総力を結集した最大のイベント「あつまろう祭」。新型コロナの影響で3年連続中止となったが、今年度は3月12日に開催する予定で準備を進めている。久しぶりに地域の皆さんが集い、絆を深めるイベントにしたい。

・ 今年度初めて取り組んだ「佐賀空港コスモス祭り」と「佐賀空港花園マルシェ」。県内外から多くの方が訪れ楽しんでいただいた。今回出た課題を参考に来年度の開催に向けて準備を進めていく。



令和元年あつまろう祭



花園マルシェ、来年も



夏休み校区一斉ラジオ体操

### 代表者

南川副まちづくり協議会 会長 副島 利孝

### 連絡先

南川副公民館 住所：佐賀市川副町大字鹿江422番地1 電話：45-8919

# 西川副まちづくり協議会

## 団体や地域の自慢したいこと

コロナ禍3年目に入り、西川副まちづくり協議会6つの部会は感染防止対策等工夫しながら、夢プランに基づき積極的に活動しています。最も結束力が発揮され、その強さを自慢できるのが、毎年恒例の「きずな祭」です。

今年度も実行委員会で令和5年3月12日（日）に開催が決まりました。以下、各部会活動のほんの一コマを紹介します。

### 自然・環境・産業部会



11月小学生との農業体験学習  
大豆収穫

### 歴史・文化部会



6月歴史探訪会  
大牟田市石炭産業科学館

### 安全・安心部会



7月小学5・6年生  
水上安全法講習（着衣泳体験）

### 子ども・子育て部会



6月子どもふれあい祭り  
木工教室

### 健康・福祉部会



5月健康ウォーキング  
昇開橋～大川風浪宮周辺

### 地域の絆・交流・活力部会



3月西川副きずな祭

## 今後の展望や夢など

・2018年12月「先進地視察研修」として、わが西川副まち協が大分県日田市中津江振興協議会視察団19名を受け入れました。次は私たち西川副まち協役員、公民館総勢20名で他県への視察研修を計画したい。（例：震災から復興した熊本城、阿蘇神社など）

・自治会と連携し、後継者育成の道筋をつくっていききたい。  
（構成員の確保、役員の交代がスムーズにできるように）

・まち協や公民館活動など、「つながるさがし」や「つながる西川副」で検索していただくよう、サークル活動や行事、催し物終了後にPRしていきたい。（操作や手順の説明など）

### 代表者

西川副まちづくり協議会 会長 坂田 元秀

### 連絡先

西川副公民館 住所：佐賀市川副町大字西古賀260番地1 電話：45-1478



# 博愛の里中川副まちづくり協議会

## 団体や地域の自慢したいこと

私たちのまちづくり協議会は、地域の歴史と伝統を守り伝える町（歴史・伝統部会）、皆が安心して暮らすを守る町（安全・安心部会）、高齢者が元気な町（健康・福祉部会）、子どもの笑顔あふれる町（こども育成部会）、四季のうつろいを大切に、絆を深め活気ある町（地域の絆部会）、中川副校区夢プランの実現に向けて5つの部会を組織し、「ともに（輪）語らい、ともに（輪）笑い・学ぶ・体を動かす」場を提供することを目的に活動しております。

コロナ禍の中での活動に苦慮し、定期的な行事も縮小、据え置き延期などにならざるを得ない現状の中、各部会では①三密を避ける、②手指の消毒、③体温測定の徹底、これらの基本を守った活動を計画・実施をしています。

地域の自慢は世界遺産に登録された三重津海軍所跡です。1861年に建設され、遺構が現存する日本で最も古いドックです。2009～2012年、発掘調査されました。正面部の木組みは側面の柱に固定されています。佐賀藩が1858年（安政5年）に設立した蒸気船等の船の修理・造船施設。

まちづくり協議会歴史・伝統部会が2016年に作成した「三重津カルタ」も自慢の一つです。毎年1月に小学生を交えてカルタ大会を行っています。

健康・福祉部会主催で毎月1回元気アップ体操を公民館大会議室で開催しています。たくさんの方が参加され和気あいあい楽しまれています。



## 今後の展望や夢など

博愛の里中川副まちづくり協議会、自治会、老人クラブ、他各種団体等で令和4年9月1日に中川副校区自主防災会を立ち上げました。第1回目の防災訓練を公民館大会議室と駐車場で開催し、内容は防災講話、南部消防署による消火訓練、AED講習会、中川副消防団員による放水訓練、食生活改善推進員による炊き出し等、参加人員が100名を超えました。

災害発生はいつくるかわからないのが現状です。地域の皆さんが防災について防災意識を持たれていることを強く感じました。今後防災訓練をよりよく充実させていきたいと考えています。

中川副校区でも空家が増加しているのが現状です。今後益々増加が進行していくと思われます。世界遺産がある早津江地区も同様です。皆さんが三重津海軍所跡に来て頂くには環境が重要です。今後は空家対策に力を入れ環境を良くしたいと考えています。



### 代表者

博愛の里中川副まちづくり協議会 会長 江口 善己

### 連絡先

中川副公民館 住所：佐賀市川副町大字早津江 27 番地 1 電話：45-4173

# 大詫間まちづくり協議会

## 団体や地域の自慢したいこと

「大詫間」は、市の東南、筑後川の下流にある三角州です。地形的特徴から、どこまでが「わがまち」なのか一目瞭然で、住民もまとまりのある地域です。イベントをやるとみんなよく集まるし、楽しみも、そして悩み事も共有しています。

コロナ禍の中でも、公民館と一緒に今年も多くイベントに取り組み、老若男女たくさんの笑顔に出会いました。これからも地域の人たちの交流を促進していきたいと思えます。

### ○大詫間絆ウオーク（春3月）

島の中をみんなで歩こうと、ベビーカーの子供からお年寄りまで約120名が参加。車社会で普段は通らなくなった小道を3キロと7キロのコースに分かれて歩き、とても懐かしい気分になりました。終わった後は食改協さん特製のカレーライスに舌鼓を打ち、心もお腹も満腹になりました。

### ○大詫間ハロウィン（秋10月）

今年2回目となった新イベント。地域に受け入れられるかなあと心配もありましたが総勢130人の仮装行列がまちを練り歩き、地域の人たちも大詫間にこんなに子供がいたのか！とびっくり。今年は地域の有志やお店の人、高齢者施設の入所者の人たちがお菓子をもって待ってきてくれ、子供たちは笑顔とともに両手はお菓子でいっぱいになりました。

・大詫間絆ウオーク



・大詫間ハロウィン



・大詫間浮立（地域の写真）



## 今後の展望や夢など

### ○まちづくり協議会の課題

大詫間のまちづくり協議会が発足して5年あまりが経ちました。会長も3代目となり、いくつかイベントも定着してきましたが、まち協の運営はまだ課題も多く、依然手探りの運営状態です。

一昨年、まち協で全世帯にアンケートを実施しました。回収率は85%です。だれでもが参加できるイベントの開催など地域の活性化に期待する意見の一方、島内の水環境や交通問題、防災など地域の困りごとにも取り組んでほしいとの意見がありました。

まち協が地域の様々な問題や課題にどこまで取り組めるのか？自治会協議会と地域の課題を共有し、連携した運営が必要で、そのほか人材の確保なども悩ましいところです。

### ○今後の活動

まち協のイベントをやっていると小学生やその保護者、70代以上の方の参加が多いように思います。中、高校生、50代～60代の方は忙しくて土日のイベントにもなかなか参加できません。そこで、すべての世代が参加でき、交流が深まるようなイベントができないか模索中です。例えば、夏祭り。以前、青年団主催の盆踊りがありましたよねえ・・・。

### 代表者

大詫間まちづくり協議会 会長 加茂 龍二郎

### 連絡先

大詫間公民館 住所：佐賀市川副町大字大詫間560番地1 電話：45-4480

# 東与賀まちづくり協議会

## 団体や地域の自慢したいこと

### ラムサール条約湿地 東よか干潟

#### ■保全・再生

東よか干潟は、渡り鳥の生息地としての重要性が認められ、2015年(平成27年)5月、ラムサール条約湿地に登録されました。干潟は、シギ・チドリ類をはじめ、絶滅危惧種を含む水鳥類の国内有数の渡りの中継地・越冬地となっています。また、海岸沿いに広がる塩生植物シチメンソウの群生は国内最大であり、佐賀県遺産に認定されています。東与賀まちづくり協議会では、豊かな自然環境や生物多様性を大切な資源として保全・再生していくための活動に取り組んでいます。

海岸の清掃活動



干潟のシチメンソウ

#### ■交流・学習

東よか干潟の価値や重要性を多くの人に体感してもらい、学びや交流する場を創出するため、東与賀まちづくり協議会では、「自然観察会(東与賀小・中学校)」、東与賀海岸での「夕暮れコンサート」、シチメンソウまつりでの「あいさつ運動」などに学校や行政等と連携して取り組んでいます。

#### ■ワイズユース(賢明な利用)

生活や産業活動との調和を図り、現代社会に適応した賢明な利用のため、関係団体等と連携をしながらワイズユースの活動にも取り組んでいます。この活動の一つが、自然との共生の中で生まれた特産ブランド「シギの恩返し米」です。この「シギの恩返し米」は、後述の東よか干潟ビジターセンター「ひがさす」等で販売されています。



自然観察会(生き物調査)



2021/09/26  
夕暮れコンサート  
シチメンソウまつり

## 今後の展望や夢など

### 東よか干潟ビジターセンターを拠点に

東与賀校区念願の東よか干潟ビジターセンター「ひがさす」が令和2年10月20日にオープンしました。この施設は、東よか干潟に飛来する渡り鳥、干潟の生物のほか、佐賀海苔の養殖、ムツゴロウ漁等の解説展示、シアターでの上映等を通して、東よか干潟の魅力を発信し、有明海的环境保全や子どもたちの環境学習が促進される施設となっています。

「ひがさす」の展望塔からは有明海の広大な干潟、多良岳や雲仙普賢岳も遠望でき、県内外から多くの方が訪れています。今年度はこの「ひがさす」を拠点に、子供たち対象の「ラムサールクラブ活動」事業が佐賀市主催で実施されており、まちづくり協議会もこの事業が「東よか干潟」の保全・再生、「ワイズユース」、環境教育・啓発活動等に繋がればとの思いで全面的に協力しています。

また、コロナ終息後は、まちづくり協議会の構成団体相互の連携を目的に、交流を深める事業にも取り組みたいと思っています。

#### 代表者

東与賀まちづくり協議会 会長 富吉 宣仁

#### 連絡先

東与賀公民館 住所：佐賀市東与賀町大字田中423番地1 電話：45-0375

# 久保田まちづくり協議会

## 団体や地域の自慢したいこと♪

1. 外出支援事業である『さるこうカー』を運行しています。今月で丸5年が経過しました。外出弱者にとってなくてはならないものとして定着しています。
2. 毎日、児童生徒の**見守り活動**を実施しています。登校時には、交差点での声掛けパトロール、下校時には青色パトロールの巡回です。月二回の夜間パトロールも実施しています。
3. 久保田駅に**防犯カメラ**を設置しています。自転車盗難が激減し、盗難犯が警察に捕まりました。
4. 毎年実施している**親子釣り大会、花づくり教室**は参加制限するほどの人気イベントです。
5. 毎年、町内各団体（21団体）の**年間行事予定**を集約し、**予定表**を作成しています。町内で何がいつあるのか一目瞭然です。年度当初に町内全戸配布しています。
6. 「久保田まちづくり協議会だより」を毎月発行しています。最初の発行からそろそろ10年です。今月で通算112号の発行となりました。地域の情報紙となっています。
7. **有明海再生**を願い、「さが水ものがたり館」と組んで、毎年、有明海に竹立てを行い、**牡蠣礁造成**に取り組んでいます。牡蠣も大きくなり、牡蠣礁も出来つつあります。
8. コロナ対策で中止していた佐賀市内で唯一の「**精霊流し**」も3年ぶりに再開しました。



さるこうカー



子ども見守り



有明海再生 牡蠣礁造成

## 今後の展望や夢など♡

★各団体の活動を引き続き支援

★各実行委員会への協力体制の強化

★人材の発掘（自治会長会を注視）

★活動資金の探索

代表者 久保田まちづくり協議会 会長 久野英徳

連絡先 久保田町大字新田3313-3 ☎68-3130